



令和7年度 秋田県立角館高等学校 CAN-DO形式での学習到達目標リスト



<高校卒業時の学習到達目標>社会課題に対し、発生原因から問いを立て、その解決に向け計画を立案し行動できる人間になる。

- ・第3学年の学習到達目標：身近な課題や時事問題について、解決のメカニズムを示しながら説得的な表現ができる。
- ・第2学年の学習到達目標：論理的構成で立論ができると同時に、スピーチの要点を聞き取り反駁と質問をすることができる。
- ・第1学年の学習到達目標：身につけた表現を用いて、「結論→根拠→例えば→締め」の型に従って自分の意思を表明できる。

	聞くこと (Listening)	読むこと (Reading)	話すこと・やりとり (Speaking)	話すこと・発表 (Speaking)	書くこと (Writing)
3年	ディベート 相手の反論ポイントの要点を正確に聞き取り、効果的な再構築を述べることができる。	ディベート 英文の要旨を捉え、批判的思考力を元に、自分に必要な情報のリテラシーを身に付けることができる。	ディベート 具体的で深い思考が可能となり、結論から会話を始め、論理的なスピーチを行うことができる。	ディベート ストーリー性があり、相手に行動を促すスピーチができる。	ディベート 自分の思考軸を持ち、事実に基づいた説得的な英文を書くことができる。アイデアも独創的である。
	□ なじみのないトピックであっても聞き返すことなく、概ね話を理解することができる。	□ 話題が身近でなくても、知らない単語の意味を文脈から推定し、文の意味を理解することができる。	□ 相手の立論や反駁を聞き、即興で根拠を述べたり質問に回答したりすることができる。	□ 授業で学習したことをもとに、リハーサルなしで発表することができる。また質問に答えることができる。	□ 話題について、重要性や利益、問題点や深刻性といった観点からエッセイを書くことができる。(25分で120語以上)
	□ 標準的なスピードであっても、身近なトピックについての比較的最長い話を理解することができる。	□ 広告、手紙、パンフレット、道案内などのような資料の中から、特定の情報を探し出すことができる。	□ 相手の意見に対して反論を行い、自分たちの意見の強みを説明することができる。	□ 意見を述べながら理由や例を伝えることができる。スピーチ後に出される質問にも答えることができる。	□ 社会に貢献するためのアイデアや解決策などを論理的に述べるができる。(15分で100語以上)
	□ 標準的なスピードで話されても、聞き直しながら内容を理解し、次に何が起こるかある程度推測することができる。	□ 主張の明確な論説文はもちろん物語文などでも登場人物の気持ちを理解しながら読み進むことができる。	□ 時事的なトピックについて1分程度、理由と具体例を述べながら伝えることができる。	□ メモをとりながら、グループや自分で調べたことを集約し順序立てて、英語で発表することができる。	□ 別々になっている要素を結束させ、論旨の一貫した文章を書くことができる。(10分で80語以上)
2年	ディベート 相手の立論ポイントを聞きながら、反論を思い浮かべ、即興で質問することができる。	ディベート 英文を読み、著者の主張と根拠、具体例を読み取り、要約しながら批判的思考ができる。	ディベート 「結論→根拠→例えば」の構成に、重要性や問題点の視点を入れ話すことができる。	ディベート より説得的なスピーチができるようになる。問題発生過程や事象がもたらす利益を述べるができる。	ディベート 文法ミスはあっても、アイデアを加えた論理的構成で25分100語以上の英文を書くことができる。
	□ 相手からはっきりと直接自分に向けられた話であれば、馴染みのない内容であっても概ね内容を聞き取ることができる。	□ 平易な情報文の内容や、簡単な記述文の概要を把握することができる。	□ 他者の意見を聞いて要点をまとめたり自分たちで話し合った内容に補足等を加えることができる。(1'00"～1'20"程度)	□ グループでの話し合いの後など、準備していなくてもメモを頼りに、ある程度まとまりのある英文を話すことができる。(1'00"～1'20"程度)	□ 既習した表現の用法を理解し、自分の思いや意見などをある程度正確な英文で書くことができる。(12分で70語程度)
	□ トピックに関する相手の考えや意見などの要点を聞き取り、理解することができる。	□ 自分が知っていることであれば、インターネットなどの中から特定の情報を見つけることができる。	□ 相手の意見に対して反論ができる。その理由についても簡単に述べるができる。(0'40"～1'00"程度)	□ 既習事項に新たな情報を加えて、視覚的な補助を頼りに発表を行うことができる。(0'40"～1'00"程度)	□ 教科書に関連するトピックについて、自分の表現を交えながら論理的な文章を書くことができる。(10分で60語程度)
	□ 明確で簡単なEメールや広告、アナウンスなどの要点を聞き取ることができる。	□ 興味関心のある分野に関して語句を理解し、概要を把握することができる。	□ リンクマップに沿って、自分の意見とその理由を述べることができる。(0'30～0'40"程度)	□ 既習の表現を変えて、発表したい英文を作り、練習すれば英文を見ずに発表ができる。(0'30～0'40"程度)	□ 複雑な内容でなければ、手持ちの語彙や表現から言いたいことを論理的に書くことができる。(8分で50語程度)
1年	ディベート 型に従って話されるスピーチを聞き、主張と根拠、具体例を簡潔に聞き取ることができる。	ディベート 教科書等の英文を読み、著者の主張と根拠、具体例を読み取り、要約することができる。	ディベート 型に従って、メモを見ながら根拠と具体例を相手に伝わるように話すことができる。	ディベート メモを見ながら、型に従ってスピーチできる。根拠と具体例を述べ、さらに問題点や重要性にも言及できる。	ディベート 多少の文法ミスはあっても、結論→根拠→例えばの構成で25分80語以上の英文を書くことができる。
	□ 家族や趣味など限られた内容であれば、話し手の伝えたいことを概ね理解することができる。	□ 黙読と同時に、英文の主語と動詞を把握し、かたまりで文意をとらえることができる。	□ リンクマップを見ながら、自分の意見について理由を述べながら表現することができる。(0'40～1'00"程度)	□ なじみの事柄であれば原稿を見ながら気持ちを込め発表することができる。(0'40～1'00"程度)	□ トピックについて、辞書や端末を用いて情報を選択しながら論理的な文章を書くことができる。(12分で60語程度)
	□ 学習済みの単語や言い回しであれば、その言語を聞き取り理解することができる。	□ 既習済みの英文であれば音読しながら、英語の語順で内容をつかむことができる。	□ リンクマップと原稿を見ながら、簡単なトピックについて意見を述べるができる。(0'30"～0'40"程度)	□ 原稿を見ながら身近な話題について、自分の意見や思い出などの短い発表ができる。(0'30"～0'40"程度)	□ テーマに沿ってプレストを行い理由や具体例を明確にし意見を書くことができる。(10分で50語程度)
	□ 日常的に使われるあいさつや呼びかけなど、短い社交的な会話を聞き取り理解することができる。	□ 教科書の単語や基本的な表現であれば、読み直しながら一文ずつ理解することができる。	□ 挨拶や好きなものなど基礎的な内容であれば会話を交わすことができる。(0'20"～0'30"程度)	□ 準備した英文を意味のかたまりで区切りながら、人前で読み上げることができる。(0'20"～0'30"程度)	□ 決められた英文枠があれば、テーマに沿って自分の意見を明確にし書くことができる。(8分で40語程度)